



4月の総会で新たに秋山武清氏が会長に就任しました。新会長に協会の運営・国際交流の意義・抱負・趣味等々ご自身の海外生活の体験などを交えながら話して頂きました。

新会長インタビュー
「私を遠慮なく使ってください」

Q：国際交流協会へ入会されたきっかけは？

秋山：神栖市国際交流協会の活動をイベントのときに知り、その活動に共感したことと、妻が先に語学委員として活動している様子を見て入会しました。

Q：国際交流についてのお考えは？

秋山：当協会の目的は「地域の国際化の促進」と要約できますが、堺屋太一氏は国際交流と国際化を峻別しており、国際化は「多様な価値観の存在を許容し、それらと共存共生する社会になること」と言われています。この視点が生かされれば、と思っています。

Q：海外生活をとおして感じた外国人と日本人の相違点は？

秋山：英米人は概して自我の確立、即ち個人主義が徹底していて、自分の利益や権利をはっきり主張しますが、義務やルールはしっかりと守ることが多いですね。

Q：モットーについてお聞かせください。

秋山：摩擦は発展の原動力という言葉が好きです。ともすると摩擦を起こすことは「悪」のように受け止められがちですが、侃々諤々（かんかんがくがく）の意見交換、つまり遠慮なく議論をするなかから発展につ

ながるエネルギーが生まれるということです。

Q：趣味は何ですか？

秋山：書店を回って書名や表紙のキャッチコピーを見ながら、本の内容を想像する「ブックウォッチング（パードウォッチングをもじった造語）」です。想像したことと内容が一致したときの喜びはたまりません。（陰の声：落語も好きようです。）

Q：新会長としての抱負をお聞かせください。

秋山：当協会は16年の歴史があり、2年前には旧波崎町の協会と合併するという組織変革を経てきました。前述の国際化の理念に基づいて微力を尽くします。

Q：会員に望まれることは？

秋山：私は引っ張っていくタイプではなく、協調型であると思っています。協会の発展に役立つよう、遠慮なく私を使って頂きたいと思います。

本日はお忙しいところ、ありがとうございました。今後の協会発展のためご尽力のほど宜しくお願いします。

（広報委員一同）

かみすシティマップ & 入会案内が完成しました！

（財）自治体国際化協会の助成を受けて取り組んできた「かみすシティマップ」と「KIFA入会案内」が出来上がりました。シティマップは、神栖市全域の5カ国語（日本語・英語・ポルトガル語・中国語・タイ語）地図です。公共機関はじめ医療機関、スーパーマーケット、ホテル、ガソリンスタンド、バス停、協賛商店などが掲載されています。外国人登録に来られた方に配布しています。また、市内公共機関でも気軽にもらえます。

